

日本工業大学 入試対策講座



必ず練習をしましょう

- 面接は練習しておく必要があります。ドアのノックやお辞儀の仕方は頭の中で想像するのではなく、実際にドアをノックしての開け閉め、お辞儀の仕方は先生や家族に見てもらい指導してもらいましょう。

控室のマナー

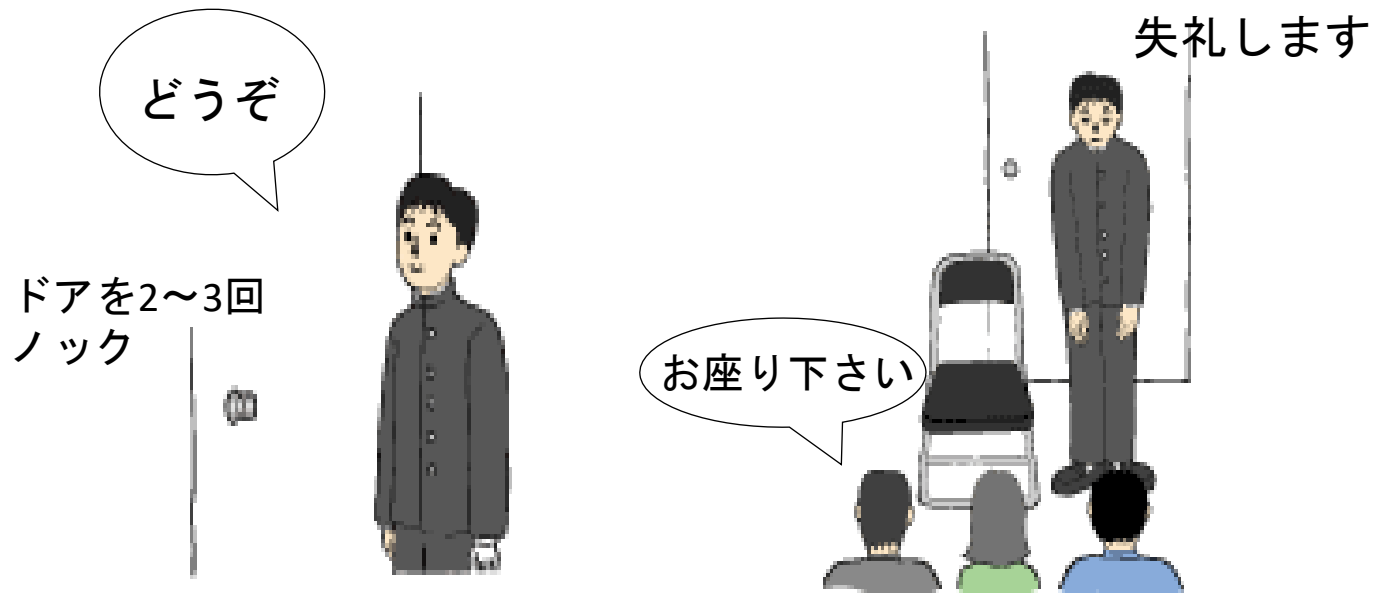
- 係の人の案内に従って控室に案内されて待機することになります。
- 控室では自分の順番が来るのを静かに待ち、試験に備えましょう。



入室の際のマナー

〔面接室の入り口まで係の人が案内します。〕

- ドアをノック（2～3回）した後、「どうぞ」の声が掛かったら部屋に入って下さい。
- ドアを閉めるときは、音が出ないように両手をドアノブに添えて下さい。
- ドアを閉めたら面接官に向いてお辞儀をします。
- 「どうぞ」と声が掛かったら用意されているイスの隣まで進んで下さい。



入室してから着席までのマナー

- 面接官から、「受験番号と名前を言って下さい」と指示がでますから、落ち着いて「受験番号〇〇〇、◎◎高等学校から来ました〇〇です」と自己紹介をします。
- 「どうぞお座りください」といわれたら「失礼します」といって着座して下さい。
- 背筋を伸ばして深く腰掛け、足は揃えて手はももの上に置くと姿勢がきまります。

◆ワンポイント！

視線の向け先は基本的には面接官の鼻からアゴのあたりで、質問が始まったら顔と視線は質問者へ向けましょう。



面接における質問内容と対策

面接官は意地悪な質問をすることはありません。

受験者の良いところを見つけようと考えて質問します。

多くの面接官は、

「緊張をほぐす質問」

「確実に答えられる質問」

「面接の準備をしてきたかを確認する質問」

「予想できない質問に対する臨機応変な対応の可否」

といった流れで質問します。一番のポイントは、

「会話のキャッチボールができるか」

になります。順を追って説明します。

【緊張をほぐす質問】

例えば… 今日はどうやって大学までできましたか？

「電車で・・・」というような単語での答えでなく、〇〇市なので〇〇駅から〇〇線に乗って△△分くらい掛かりました、など簡単（ぶっきらぼう）にならず、かといってあまり事細かに説明する必要もありません。あくまでも和やかに話を進めるための会話です。

【確実に答えられる質問】

～クラブや生徒会活動などについて～

活動記録の記載があれば必ず聞かれます。部活内でのポジション（主将 or マネージャー等）、活動状況（部員数、大会出場状況等）など、自分の所属していたクラブですから人数や入賞順位などの数字はしっかり答えられるように準備しておきましょう。答えの内容によっては、「クラブ活動を通じて学んだことはなんですか？」といった本質を問うような質問に発展することもあります。

【確実に答えられる質問】

～成績について～

得意科目と不得意科目については良く聞く質問です。既に出ている結果ですので、これをもとに合否を決めるではありません。素直に答えれば大丈夫です。

【確実に答えられる質問】

～出席日数について～

一般的に10日間以上の欠席がある場合は、その理由について必ず聞かれるものと考えて準備をして下さい。



【面接の準備をしてきたかを確認する質問】

～志望動機について～

なぜ本学なのか、また学科を選択した理由は必ず質問されます。どの大学に対しても通用する模範解答を話してもアピールにはなりません。良い印象を得るにはオープンキャンパスやホームページを見て、他大学と比較するなどの準備をする必要があります。とはいっても、丸暗記したことを棒読みするような話し方では、準備の努力は認めるけど、大丈夫かな?と思われるてしまいます。

【面接の準備をしてきたかを確認する質問】

～入学後の抱負に関する質問～

「大学に入学したら、何を学んで将来はどうしたいのか」これは、高校生の皆さんにはとても難しい質問だと思います。自分の長所や興味の対象を理解していないと答えられません。そういった観点で自己分析をした上で準備をして下さい。

その他に…

予想できない質問に対する臨機応変な対応の可否」

これはケースバイケースで、面接官と会話がはずんだ場合に、話の流れの中で出てきます。



面接が終わった後のマナー

- 面接官から、「これで面接を終わります」と言われましたら、元気よく「ありがとうございました」と言ってから、お辞儀をしてください。
- その後、椅子の横に立って、もう一度面接官に向かってお辞儀をしてください。
- 忘れ物の無いように荷物を持ち、ドアや出口の前まで移動します。そこで、面接官のほうを向いて立ち、元気よく「失礼致します」と言ってから、お辞儀をしてください。
- ドアは静かに開け、閉めるときはドアノブに両手を添えて音の出ないようにします。

◆ワンポイント！

最後の印象も、とても大切です。
しっかり練習して、自然にできるようにしてください。



【最後に一言】

主体的に取り組んだ経験が多いほど、面接での対応がスムーズに行えます。

高校生だからこそできること

いまだからこそできること

小学生の頃からずっと好きだったこと

おもいきって挑戦してみたこと

面接の日まで、少しでも多くの経験を重ねて、夢を勝ち取ってください。

